

## はじめに

2009年6月1日より、46年ぶりに改正された薬事法が施行となり、OTC医薬品の販売制度が大きく変わった。最も大きな変化は、OTC医薬品の約95%が4年ないし6年の薬学教育を受けていない「登録販売者」の手にも委ねられるようになったことであろう。

従来の薬事法の下では、医薬品を取り扱うことのできる資格者は薬剤師であり、「街の薬剤師」のほとんどがOTC医薬品を販売する薬剤師であった。しかし、医薬分業推進一辺倒で進んできたこの20年余の間に、薬剤師といえば薬局薬剤師（保険薬剤師）という表現が当たり前になるほど薬剤師の医薬品への関わり方が変わってしまった。

「OTC薬剤師」は「薬剤師の括り」から抜け落ち、各種学術研修会や情報収集の機会から遠ざかることになった。このことは、改正薬事法の下での登録販売者の誕生と無縁ではない。

一方、国においては膨張する医療費抑制のために、国民に対して「セルフメディケーション」による健康管理を提唱している。自己の責任で健康管理を行い、軽度の不調はOTC医薬品等を用いて手当てをするようにということである。そして国民のセルフメディケーションを支援することは薬剤師の役目だとされてきた。

これを受けて今、薬剤師の大多数を占める薬局薬剤師もOTC医薬品や健康食品を積極的に扱う意義を感じ始めている。そして、新たなスタートを切った登録販売者もより深い知識が求められることとなった。

本書は、著者のOTC薬剤師としての長年の経験を基に執筆したものである。

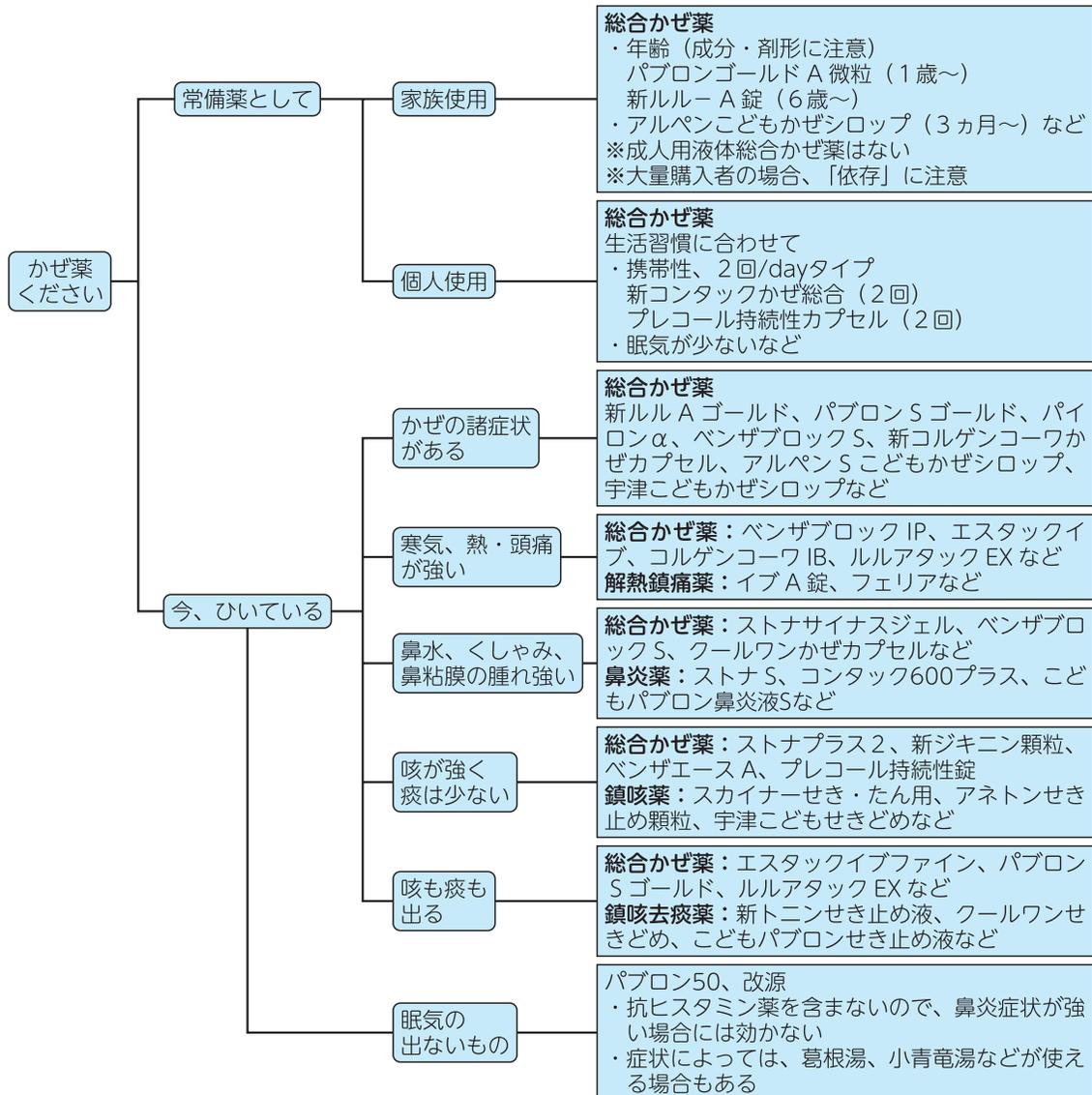
まず、OTC医薬品販売の現場を知り、必要な薬学的基礎と実践的な販売ノウハウをくみ取っていただき、専門家としての職能を活かした真のセルフメディケーション支援に役立てて頂ければ幸いである。

2013年9月 著者

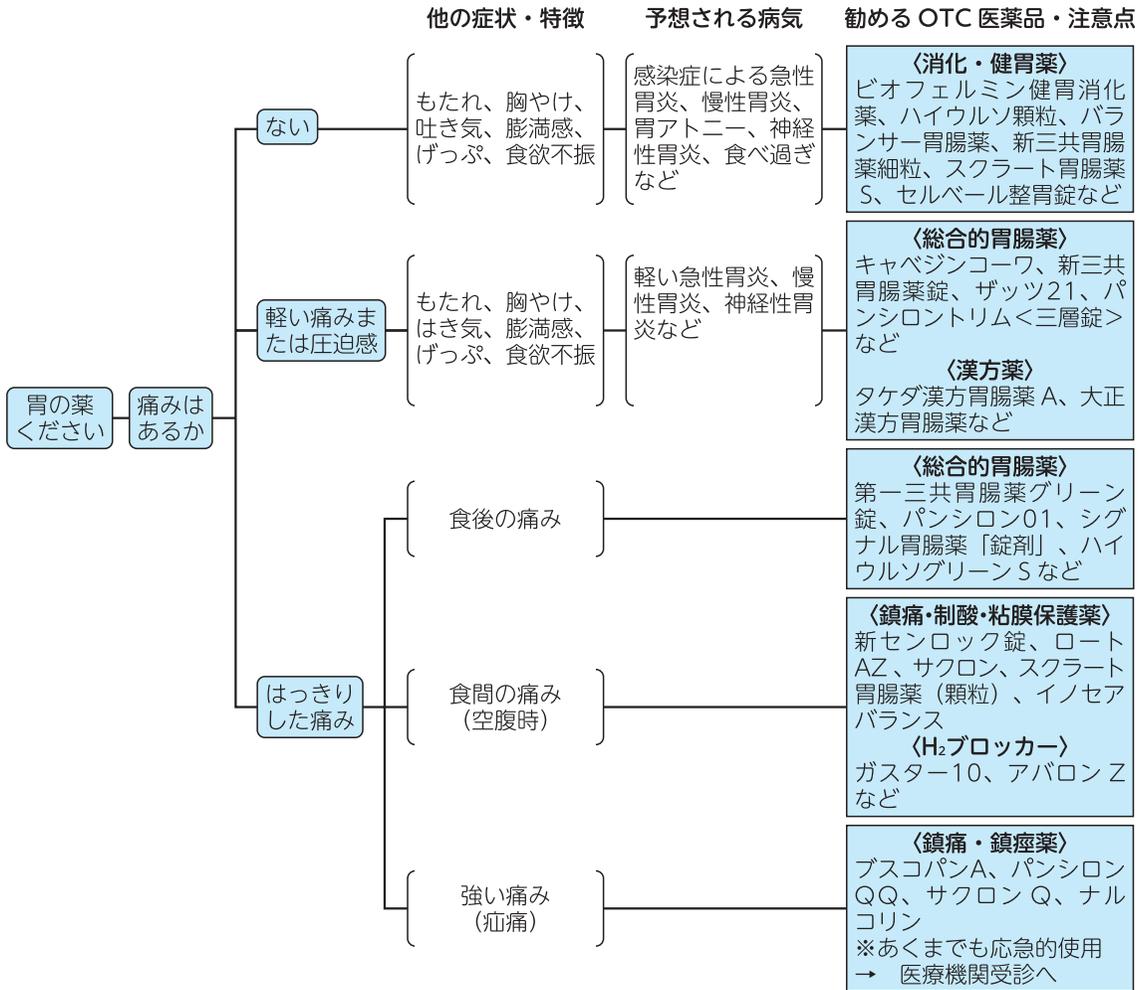
薬剤選択のフローチャート（参考）

◆かぜ薬

勧める OTC 医薬品・注意点



◆胃腸薬

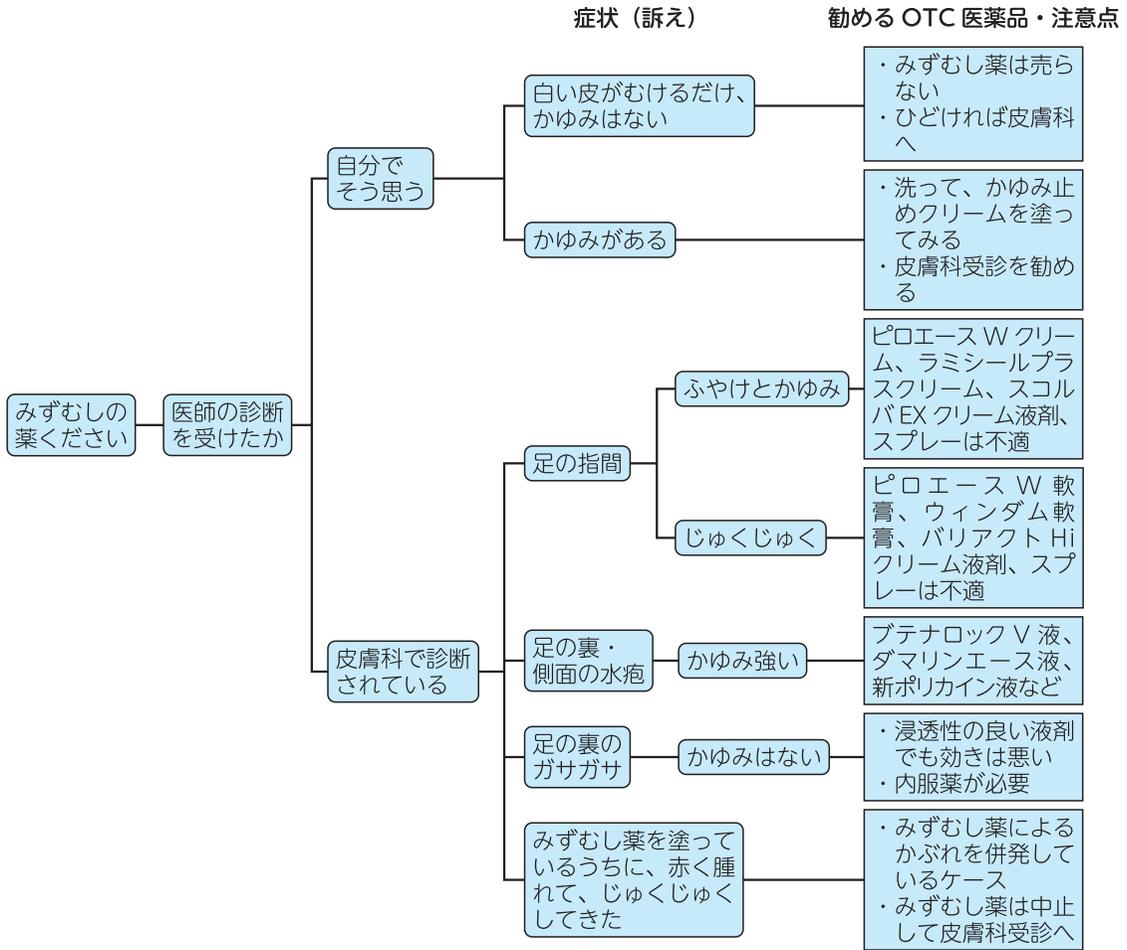


※吐血・下血、熱、ショック症状がある場合は医療機関へ。  
※病名を断定的に言ってはならない。

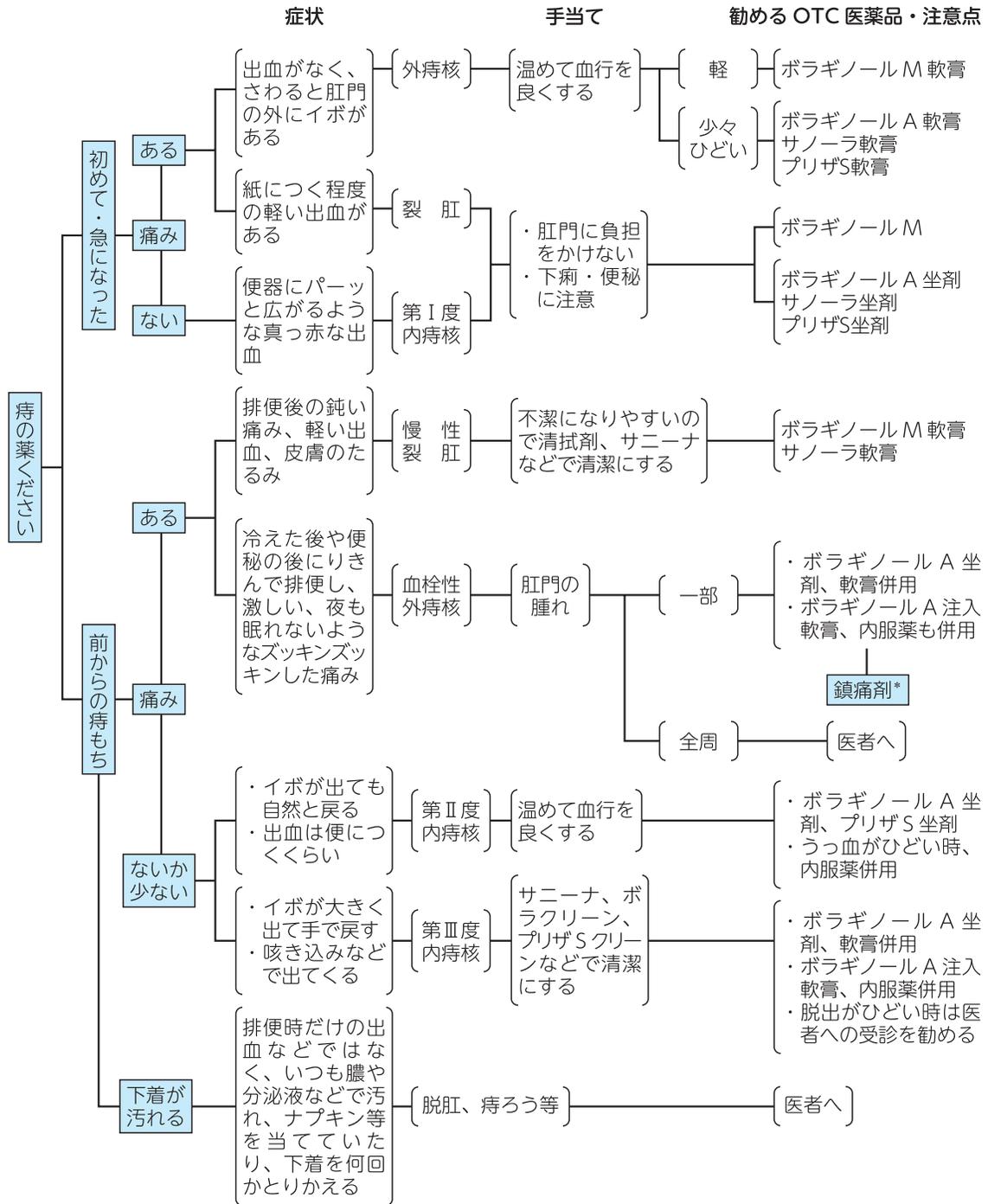
◆湿疹・かぶれの薬

	確認すること	勧める OTC 医薬品	手当の方法・注意点
湿疹の薬 ください	<p>何かに触れなかったか？</p> <p>・手、足、顔（野山、庭木、草、花、虫） ・衣服などに覆われているところ（新しい下着、ブラジャー、ゴム手袋、新しいスニーカーなど） &lt;接触性皮膚炎の可能性&gt;</p>	<p>&lt;ステロイド系&gt;</p> <p>強めのステロイド剤で 早めに治す</p> <p>ベトネベート、リンデロンVなど</p>	<p>・原因となるものを避ける</p> <p>・直接触れないところに広がることもある</p>
	<p>何か薬をのんでいないか？</p> <p>・日の当たる部分（降圧薬、抗生剤、糖尿病薬など） &lt;日光皮膚炎の可能性&gt;</p> <p>・決まった場所に左右対称に &lt;アレルギー性薬疹の可能性&gt;</p>	<p>&lt;ステロイド系&gt;</p> <p>メックスリビ、ブレバリンα、セロナなど</p> <p>&lt;非ステロイド系&gt;</p> <p>トレンタム、ロバックUなど</p>	<p>・医師と相談して原因物質の除去</p> <p>・日に当てない工夫</p> <p>・症状によって薬を使い分ける</p>
	<p>長い間、塗り薬を塗っていないか？</p> <p>・酒やけのような赤味、にきび様、血管が浮き出て見える &lt;酒さ様皮膚炎の可能性&gt;</p> <p>・ステロイド剤の使いすぎ</p>	<p>・ステロイド剤の使用中止</p> <p>・急に全面中止はダメ（リバウンド）</p> <p>・より弱いステロイド剤に切り替えたり、徐々に回数を減らしていく</p> <p>・医師の管理下で実施するように勧める</p>	
	<p>中年女性の首すじ、頭頂部</p> <p>強いかゆみ、平らな苔鮮化、良くなったり、悪くなったりする &lt;ビダール苔鮮の可能性&gt;</p>	<p>&lt;ステロイド系&gt;</p> <p>フルコートF、テレスハイ、シオノギPVなど</p>	<p>・ストレスなども関係するといわれている</p> <p>・悪いときのみ薬を使用</p>
	<p>ひじ、ひざの内側など赤いガサガサ</p> <p>&lt;アトピー性皮膚炎の可能性&gt;</p>	<p>&lt;ステロイド系&gt;</p> <p>リンデロンV、ブレバリンα、シオノギDなど</p> <p>&lt;非ステロイド系&gt;</p> <p>エピアマートSなど</p>	<p>・症状に応じて強・弱、ステロイド・非ステロイドを使い分ける</p> <p>・石鹸でよく洗う</p> <p>・保湿クリームを使う</p>
	<p>目の周囲～鼻の周囲、毛穴に一致してフケのようなもの、赤いブツブツ</p> <p>&lt;脂漏性皮膚炎の可能性&gt;</p>	<p>&lt;ステロイド系&gt;</p> <p>リビメックス、セロナ、シオノギDなど</p>	<p>・石鹸でよく洗う</p> <p>・ビタミン B<sub>2</sub>、B<sub>6</sub>の内服</p>
	<p>十円玉ぐらいの範囲に一面のブツブツ、冬季に悪化、虫さされ跡などから</p> <p>&lt;貨幣状皮膚炎の可能性&gt;</p>	<p>&lt;ステロイド系&gt;</p> <p>ベトネベート、シオノギPV、エマゼンなど</p>	<p>・症状のひどいときは、抗生剤入りステロイド剤</p>

◆みずむしの薬



◆痔の薬



\*裂肛などで痛みが強い場合は、一時的にイブA等の鎮痛剤を使用すると楽になる。